よい指示の4つの要素（目的・条件・形式・例）

生成AIに、求める答えを出してもらうには、どのように指示するとよいのだろう

1つの指示を、4つの部品に分ける

目的	何のために	理科の発表で使うので、
条件	何を・だれに	光の反射について、中学1年生に分かることばで、
形式	形・長さ	3つの箇条書きで、それぞれ30字以内で、
例	答えの見本	（例：・鏡に当たった光は、はね返る）のように書いて。

できあがった指示

理科の発表で使うので、
光の反射について、中学1年生に分かることばで、
3つの箇条書きで、それぞれ30字以内で、
（例：・鏡に当たった光は、はね返る）のように書いて。

部品が足りない指示 目的に合わない

「光について教えて」

AI

光は1秒間に地球を7周半進み…色は…レンズは…

（話が広がり、長くてむずかしい。架空）

4つの部品がそろった指示 ✓

AI

- 光は鏡などの表面ではね返る（反射）
- 入ってくる角度と、はね返る角度は等しい
- 水面に景色が映るのも、光の反射

（目的に合い、短くて分かりやすい。架空）

使うときに

一度で決めない
答えを見て、指示を直す

個人の情報は入れない
名前・住所・写真など

答えは確かめる
教科書や資料でくらべる

魔法のことばはない
目的をはっきりさせる

※ 指示と答えは架空。4つの部品は考え方の目安で、すべての指示に必要なわけではない。